

ナンバリング	A②01	科目名	教養基礎演習		担当教員	明石琢也 古賀真二 鶴田真二	
ディプロマポリシーとの関連性	②・③		担当形態	複数			
テキスト	適宜、配布します。			単位数 授業形態	1単位 演習	開講時期	前期
講義概要 ■到達目標 ・基礎学習では、学ぶ楽しさを知るため、取り組みに自ら参加し発言する。 ・講演では、自身の関心の世界を拓げるため、事前学習から事後学習にいたるまでの学習において他者に目を向け、自分の感じたこと・考えたことを述べる。 ■授業の概要 本学では2年間を通して、専門科目および教養科目の中で様々なことを学びますが、本授業ではそうした学びの基礎作りを行い、「自ら学ぼうという姿勢」「他者に目を向けながら学ぶ姿勢」を身に付けます。具体的には、基礎学習では、時事・哲学・文章表現の3コースに分かれてそれぞれの学習を進めます。また、講演では、外部から講演者を招きます。単に話を聞くだけでなく、事前には講演に向けた準備をし、事後には講演を振り返る時間を設けます。そして、最後にまとめのレポートを作成します。 ■授業計画 第1回 オリエンテーション 「教養基礎演習」とは何か 第2回 基礎学習（1） 第3回 基礎学習（2） 第4回 基礎学習（3） 第5回 基礎学習（4） 第6回 基礎学習（5） 第7回 基礎学習まとめ 第8回 講演（1）（事前学習） 第9回 講演（1） 第10回 講演（1）（事後学習） 第11回 講演（2）（事前学習） 第12回 講演（2） 第13回 講演（3）（事後学習） 第14回 まとめ / 後期に向けて ■準備学習 ・毎回、自身で学習の内容を整理して、次回に繋げること。 ・グループ活動を行うため、自身の考えを整理して、他者に伝える準備をしておくこと。 ■評価方法 ・授業への取り組み（授業毎の活動への積極的な取り組み・発言） — 60% ・レポート — 40%							
参考文献	特になし。			特記事項	【課題等のフィードバック方法】 ・レポートにはコメント等を書き加え返却する。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保	教養科目		
実務経験のある教員等による授業内容							